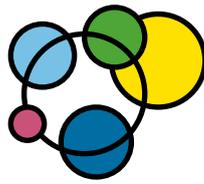


そわにえ
Soigner



第28号

「Soigner (ソワニエ)」とは、「世話をする・手当てする」という意味のフランス語です。

2014年12月20日発行

発行／東京訪問看護ステーション協議会(責任者 嶋森好子)
〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9F
株式会社プロコムインターナショナル内
TEL: 03-5520-8824 / FAX: 03-5520-8820
<http://www.tokyohoukan-st.jp>

INDEX／	訪問看護サミット……⑤
ぼん・くらーじゅ ……①	学会に参加して……⑤
特集:	ステーション紹介……⑥
訪問看護教育ステーション事業 ②	編集後記他 ……⑧



レインボーブリッジからお台場を臨む

日本は少子・超高齢化社会に突入したことで、急性期医療中心型(病院)から療養支援型(地域システムの活用)へと保健・医療制度を改革し、その制度の定着と在り様への理解が求められている。新たな医療制度は高齢者支援を視野に構築されたものであり、そのキーワードは「最後まで住み慣れた地域でその人らしく生活すること」である。この制度の推進の鍵を握るのは「訪問看護」であると考え。

高齢者の入院は、それ自体がリスクとなる。住み慣れた自由な自宅での生活とは異なり、病院の生活は“病氣”を主としたものであり、制限的で自由が少ない環境にある。高齢者にとって急激な環境変化は、予想以上に認知や精神にダメージを及ぼす。興奮したり攻撃的になったり、認知症が進行したりすることがある。さらに重大なことは、急激な筋力低下である。高齢者が病氣回復後、自宅に戻り元

訪問看護への期待
 — 高齢化社会における地域・病院連携 —
 東京医科大学病院
 副院長・看護部長
 中野八重美

の生活をしたいと望んでも、日常生活に支障が生じるほどの筋力低下があれば、容易に自宅へは戻れない。病院看護支援の限界を感じる瞬間でもある。高齢者支援で重要なことは、衰えつつある身体機能を引き出し少しでも長く維持し、住み慣れた人々(地域)に囲まれ暮らすことで心の平穏と満足感を得られるようにすることでもある。病氣を抱えながらも住み慣れた地域で暮らすことはその人の“生活の質”としても重要であると考え。

Bon Courage
ぼん・くらーじゅ

これからの訪問看護は、これまで以上に病院と連携し、チーム医療者の一員として協働する役割を担うことである。そして、訪問看護側から対象者の問題などについて病院側に積極的に発信することが大切である。地域で高齢者を支える“要”として活動することを大いに期待している。

特集：訪問看護教育ステーション事業

東京都では平成25年度より2ヶ年のモデル事業として「訪問看護教育ステーション事業」をはじめました。この事業の目的は、「身近な地域において、訪問看護に関心のある看護職の訪問看護ステーション体験・研修や、訪問看護業務の相談に対する助言及び情報提供の仕組みを整備することにより、訪問看護への就業意欲を喚起するとともに、訪問看護師の確保・育成・定着を図ること」です。今号では、教育ステーションに指定された5施設から現状報告と将来の展望をお寄せいただきました。



研修生の受け入れ状況等

訪問看護ステーションみけ 所長 椎名 恵美子

研修生は1日～5日間のコースを選ぶことができます。

- ①新任訪問看護師には、「日々の訪問」だけでなく「地域における訪問看護ステーションのあり方」や「多職種連携における訪問看護師の役割」なども考えられる訪問看護師になることを目標とし、訪問看護ステーション格差の解消に努めています。
- ②医療機関看護師には、生活者として患者を看ることの具体的な視点を医療機関に持ちかえり看護師同士で共有し、在宅復帰強化と地域の看護師との円滑な連携や、訪問看護への就業意欲惹起も目標としています。
- ③離職中の看護師には、「訪問看護こそチームケアの場であり一人ではない」と「漠然とした不安」を払拭して、訪問看護ステーションこそワークライフバランスを重

視した柔軟な働き方をしながら自己実現を達成できる職であることを理解してもらい、訪問看護師への就業意欲惹起を目標としています。

この事業開始の平成25年11月末以来、平成26年9月末までで187名・延研修日数476日間の研修生を受け入れました。研修生の内訳は、訪問看護経験1年未満の看護師が51名・訪問看護経験1年以上の看護師が37名・医療機関等看護師が67名・現在離職中の潜在看護師が32名です。潜在看護師がどれほど訪問看護ステーションに就職したかは完全に追跡調査できていませんが、少なくとも訪問看護ステーションみけに研修に来られた訪問看護師は、75%が訪問看護師になりました。



教育ステーション体験・研修の実際

白十字訪問看護ステーション 所長 服部 絵美

白十字訪問看護ステーションでは、平成26年10月末時点で37名、延べ103日間の体験・研修を受け入れています。平均1日3件の訪問先を地図で確認し、電動自転車に乗り、真夏には帽子を被って、雨の日は合羽を着て、季節を感じながらご利用者様宅へ伺うことを体験して頂いています。

今年度はじめた取り組みのひとつとして、区内の他のステーションに協力して頂き、研修を行いました。当ステーションでは小児のケースが少ないため、小児のケースが多いステーションに就職した研修生の方に、研修日程の中の数日を新宿区内の小児に特化したステーションに引き受けてもらいました。研修後のカンファレンスより、小児特有の発達を促す遊びを訪問の中で取り入れていくことや、児の母親への関わり等、様々なことが体験できた様子で、当ステーションの研修だけでは学べなかったこともあったと思います。

また、子育て中の潜在看護師の方では、長時間の研修は難しく参加できないこともあります。研修される方の空いている時間の中で訪問先を調整し、出来る限り柔軟に対

白十字訪問看護ステーションのスタッフ



応することで、一人でも多くの方に訪問看護に触れて頂き、是非仲間になってもらえたらと思っています。

今後在宅で療養される方がより増える状況を考えると、その人らしく暮らしていけるのを支えるには、質の高い訪問看護を提供できる看護師の育成が必要です。研修生はご利用者様から様々なことを学ばせて頂き、スタッフからは訪問看護師として大切にしていることや訪問看護の楽しさを聴き、訪問看護師として地域で活動していく意識の向上にもつながっているように感じます。この研修で学んだことを生かし、多くの訪問看護師が現場で活躍していくことを期待して、今後も関わっていきたいと思います。



訪問看護師確保のための取り組み

山の上ナースステーション 所長 柴田 三奈子

教育ステーションの活動目的の一つに、訪問看護師確保のための取り組みがあります。具体的には、地域の求人情報を把握し、就職を希望される方に訪問看護ステーションをご紹介することや、地域の訪問看護ステーションからの相談に応じることがその役割です。山の上ナースステーションは、教育ステーションの中で唯一、都下（市部）にあり、研修に来られる方も広域から来られます。研修に来られた方を地域の訪問看護ステーションにご紹介できれば良いのですが、すでに働いている訪問看護師さんが多く、なかなか就職を考えている潜在看護師さんが研修に来れないのが現状です。

また、担当地域が広域すぎて求人がどこにあるのか把握することも難しい状況です。ようやく日野市内の訪問看護ステーションの求人状況をホームページに掲載できるようになりました。できるだけ定期的に最新情報を更新し、就職希望者や地域の訪問看護ステーションに役立ててもらいたいと思います。

相談に関しては、これまで「人員不足」「人材育成」「経営に関すること」等の相談があり、それぞれの訪問看護ス

テーションの状況をお聞きし、出来るかぎりのアドバイスを行っています。管理者だけでなく、経営者や法人本部の方が相談に来られることも多いため、職場環境の改善や自組織の強みを生かした運営が問題解決に繋がることをお伝えしています。コンサルテーション的要素が大きく、時間的にも負担のある活動ですが、「働きやすい環境」「訪問看護への職務満足」が整備されれば訪問看護師の確保に繋がると思っていますので、これからも地道に相談活動を続けていきたいと思っています。



5日間の研修を終えた後の反省会



訪問看護師の人材育成・教育

板橋区医師会高島平訪問看護ステーション 管理者 井上 多鶴子

在宅療養を支える訪問看護ステーションとして、安心・安全な訪問看護の提供はいうまでもないことです。「人材育成・教育」に関する取り組みは、新人ナースもベテランナースも、また訪問看護師も在宅医と一緒に学び連携できることを目的として企画いたしました。

平成25年度の第1回目は、「緩和ケア“ここだけ話”」と題し、地域の在宅医に講師を依頼しました。参加者は訪問看護師16名、在宅医3名、薬剤師2名、PT3名。安易に使われやすいオピオイドの使用上の注意や連携についてのディスカッションも行いました。第2回目は、「管理者としてここだけは押さえておこう」と題し、管理者および管理者に準ずる者を対象に研修を実施しました。区内25ヶ所の訪問看護ステーションに呼びかけ、19ステーションが参加、現管理者19名を含む26名が参加しました。

平成26年度の第1回目は、「訪問看護におけるリスクマネジメントの視点」と題し、訪問看護スタッフ向けの研修を行いました。参加者は訪問看護師、PT・OT合わせて50名で、日頃の訪問看護業務におけるリスク感度を高める研修となりました。第2回目は、「エンドオブライフを支援するために」と題し、在宅医と訪問看護ステーションの合同カンファレンス形式で研修を行いました。在宅看取りの場で遭遇する多くの事象を共有し、医師と訪問看護師が一致した方針のもと、エンドオブライフを支援するためのディスカッションを行いました。参加者は、医師10名、訪問看護師27名、病院看護師1名、PT6名。日頃チームを組んだことのないステーションと医師が顔見知りの関係になれたという意味でも効果があったと思います。

研修の様子





訪問看護師確保と質向上のための取り組み

あすか山訪問看護ステーション 統括所長 平原 優美

所長就任当初は看護師を募集しても反応がなかったの
で、ブログを作成し管理者の思いを公開し、どのような看護を重要と考えているかを伝えました。多くのステーションがホームページを開設していますが、管理者の思いがわかる内容になっていないので就職する勇気がわかなかつたと応募してきた看護師は話していました。さらに、5年前から体験研修を開始し、実際にスタッフと話し、自分の看護観にあうステーションかどうかの判断を促し、ミスマッチを予防しています。

また、ケアの質を高めるためにさまざまな教育プログラムを検討してきましたが、一番大切な質の向上への支援は、働くスタッフ同士のスムーズなコミュニケーション・人間関係づくりであることを最近実感しています。どれだけ互いの考えを相互理解できるか、キャリアがあるスタッフも新人も尊重しあいながらQOLを向上するケアを考えること、その時間がステーションの質向上につながることに気が付きました。つまり、対話により自分の専門職としての看護

観やモチベーションなどの自覚が高まるのだと思います。

今年、初めてワールドカフェ形式で現在のあすか山訪問看護ステーションの印象や感じていること、地域における使命などを話し合いました。土曜日の半日を使い、様々な意見や今後の活動への意見がでました。皆でこのステーションの活動を決めていきたい、そのためには地域から信頼されるケアを行うことが重要であることなどが上がりました。現在、認定教育課程、在宅看護CNSコース、大学院博士後期課程で学びながら働いています。スタッフ一人ひとりの看護職として成長できるステーション体制づくりが重要であると思います。



ワールドカフェの風景

広報委員会 メンバーから

他県の訪問看護ステーション協議会から「東京都の教育ステーションはどのようにやっているの?」「自県でもやりたいと思っている。」「予算はどうしているの?」などの声を聞きます。

今回は東京都の訪問看護推進総合事業のひとつ、訪問看護教育ステーション事業を特集しました。都内の5ヶ所のステーションが教育ステーションとなって、さまざまな取り組みをしている現状を知ることができました。とてもありがたい事業だと率直に思います。そして、このモデル事業の指定を受けて活動してくださっている教育ステーションの皆さんの熱意と努力には頭が下がる思いです。日々の訪問看護とは別に、このような事業をしてくださっている皆さん、本当にありがとうございます。研修生にとって卓越した皆さんの仕事ぶりを間近で見聞きでき、豊富な体験の中から助言していただけるのは、本当に貴重な体験にな

ると思います。一人で悩まず、この事業を上手く活用してみるのもいいかもしれませんね。

実際に教育ステーションに研修に行った人からは「他のステーションの訪問看護を見て、参考になることがたくさんあった。」「モチベーションが上がった」「自分のステーションもICT化しようと思う」「訪問看護を始めた」などたくさん感想が寄せられています。年明け平成27年1月10日(土)に都庁で行われる「訪問看護フェスティバル」のシンポジウムでも具体的な活動や実際に教育ステーションでの研修後訪問看護師になった方のお話も聞くことができます。ぜひ皆さんお誘い合わせの上ご参加ください。

地域によってニーズも事情も異なるので、都内5カ所といわず、各ブロックに教育ステーションがあり、それぞれの地域で研修後の就業相談もできるようになったら、ますます東京都の訪問看護も活性化していくのではないのでしょうか。(東大和訪問看護ステーション武蔵村山サテライト 龍原)

東洋羽毛は日本の生活に、高品質な羽毛ふとんを普及させたい。 羽毛ふとんを通じて、日本の生活文化の向上に貢献したい。その思いで61年になります。

私たちは常に社会と皆様の快適な生活のお役に立つには
何が出来るのかを考え行動してまいりました。

一例として…

- ・1956年、第1次南極観測隊に羽毛服と寝袋を納入。
その後、現在まで南極越冬隊の羽毛服には
東洋羽毛の羽毛が使用されています。

皆様に信頼される企業である為に、責任を持ち、挑戦し続けます。

皆様に信頼されて61年

TUK 東洋羽毛首都圏販売株式会社

東京 営業所 ☎ 0120-195804

西東京営業所 ☎ 0120-218104

南東京営業所 ☎ 0120-559070

www.toyoumo.co.jp

訪問看護サミット

去る平成26年11月29日（土）に日本訪問看護財団主催の訪問看護サミットが行なわれました。財団が設立して20周年も記念して、ベルサール新宿グランドホールに全国各地の訪問看護関係者が集まりました。高階恵美子厚生労働大臣政務官を初め来賓の方々から少子高齢社会における地域包括ケア、在宅医療の担い手である訪問看護に対する期待、そして、訪問看護師が生き生きと活動できる環境の提供や在宅ケアの基盤整理に取り組んでいこうという話があり、とても心強く思いました。また、訪問看護振興財団のこれまでのあゆみを見ながら、これまで私たち訪問看護師を陰日なたとなって支援してくださっていることが良くわかりました。

今年は記念サミットということもあり、訪問看護の推進にご尽力された方への表彰状、感謝状贈呈式がありました。東京都からは、浅草医師会立訪問看護ステーション・山田京子さん、前新宿訪問看護ステーション・横田喜久恵さん、訪問看護ステーションけせら・阿部智子さんが表彰を受けました。3名の方々は、訪問看護の草分け的な活動から現在も多くの訪問看護師の道しるべとなって訪問看護

の現場で活躍している方々です。受賞おめでとうございます。そして、これからもよろしくお願ひします。

午後からはパネルディスカッションや記念講演、在宅医療に係わるさまざまな企業の展示もあり、充実した一日を過ごすことができました。

（野村訪問看護ステーション 家崎）



表彰された3名



受賞者集合写真

学会に参加して

11月15日、第4回日本在宅看護学会学術集会に行ってきました。“未来を拓く在宅看護～もうまったなし、覚悟するなら今～”というテーマで開催されました。

午前中の会長講演・教育講演では、訪問看護が地域包括ケアシステムにおいて大変重要な役割を担っていることを、改めて感じました。そして、訪問看護の専門性を意識しつつ、日々の業務に携わっていかねば！という刺激を受けました。午後は起業した訪問看護師のシンポジウムもあり、自立した看護師がもっともっと増えてほしいなと思いました。

日々忙しい中、学会参加は大変ですが、リフレッシュできました。

（なごみ訪問看護ステーション 葉山）



おかずのおいしさ、そのままゼリーに
3つの味で新登場



エンジョイ おかずゼリー

ひとまわり小さくなった
食べきりサイズ



他にもおいしく栄養が摂れる、豊富なラインナップがそろっています。資料・サンプル等のご請求はお気軽に。

☎ 0120-52-0050 クリニコ 検索

<http://www.clinico.co.jp>

森永乳業グループ病態栄養部門
株式会社クリニコ

け やき通り訪問看護ステーションは清瀬市に平成 24 年 4 月に開設して3年目に入りました。少しずつ職員と利用者が増え現在は看護師6名（非常勤3名）、看護補助1名、理学療法士1名、作業療法士3名（非常勤3名）、事務員2名で利用者70名の療養生活を支援しています。清瀬市～近隣市を自転車や屋根付き3輪バイクで広域に訪問しています。何の出前なの？と聞かれることも多いですが、清瀬の風を感じ回る訪問は気分をリフレッシュすることができます。

清 瀬市は、人口 74,104 人、面積 10km²『手をつなぎ、心をつむぐ、みどりの清瀬』をキャッチフレーズとしています。かつて、結核療養所が散在していた名残で、病院・診療所が55施設もあり、在宅酸素を使用している方をお見かけすることも多くあります。生保率 26.5%、高齢化率 24.9%と東京一高く、訪問看護師はますます必要とされています。

ス テーション併設の居宅介護支援事業所（兼任含め介護支援専門員3名）との連携を図り、ケアマネジメントと看護・リハビリを一元的に提供しています。また、専門性の高いケアの提供を目指し、皮膚・排泄ケア認定看護師、呼吸療法士、リンパドレナージスト、西東京糖尿病療養指導士が幅広い知識を活かし、その専門性を発揮しています。多職種との協働から他の事業所の勉強会に出張することもあり、地域に根差し気軽に声をかけてもらえるステーションになれるよう頑張っています。

訪 問では利用者やご家族に寄り添う気持ちを大事にして看護を提供しています。忙しい日々ですが利用者様、ご家族よりいただく「訪問看護を利用して良かった」との言葉は明日からの訪問看護のエネルギーの源です。多くの人に支えられているステーションです。



スタッフ一同



訪問に行ってきます



けやき通り沿いは
小さな美術館

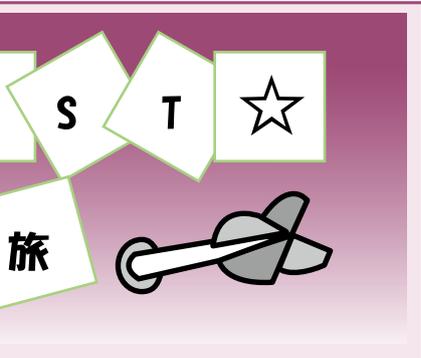


緑豊かなけやき通り

一般社団法人 清風の会
www.seifu-nokai.or.jp/

けやき通り訪問看護ステーション
管理者 清野 美砂

〒204-0013 清瀬市上清戸2-12-13 メゾン中川101
TEL: 042-497-2351 FAX: 042-497-2352
E-mail: keyaki-hokan@seifu-nokai.or.jp



大田池上

訪問看護ステーション

Vol. 38

ここ大田区は、東京都の最南部いわば端っこで、多摩川を挟み神奈川県川崎市と隣接しています。東部に日本の玄関口「羽田空港」があり、60km²の面積に70万人以上が暮らしています。高齢化率は21.7%でまだまだ増え続けています。

その大田区のド真ん中にある“池上”という地域にステーションがあります。池上には日蓮宗大本山の「池上本門寺」があり、信仰深い町でもあります。毎年10月には全国から30万人以上の参拝者が訪れる「お会式」が執り行われ、町全体が万灯の明かりに包まれます。



また、大田区北部の“馬込”にサテライトを開設しています。池上と馬込、2つのステーションで、面積の広い大田区全域を看護師10名で訪問しています。大田区は、かの有名な桜坂を筆頭に坂が多い地域なので、移動には電動自転車^{まごめ}が不可欠です！夏の暑い時期は、エアリズム（ユニクロのインナーシャツ）が乾く間もないほど汗びっしょり！になって走り回っています。でも、残念ながら痩せることはありません……。

教育面にも力を注いでおり、近隣の看護学校や医系大学の学生、病院看護師などが、一年を通しほとんど毎日実習に来ています。30代、40代中心のスタッフが、時に母親のように優しく指導に関わっています。また、新人スタッフには、自信を持って一人で訪問できるようになるまで、何回でも同行訪問をしています。



当ステーションは、ちょうど20年前の平成6年8月、松井病院（大田区池上）の附属として開設されました。平成19年からは、TMG（戸田中央医科グループ）の仲間入りをして、グループ内の行事に参加し、他の医療機関や訪問看護ステーションとの絆を深めています。

この20年間、何十人も看護師が、何百人もの在宅療養者へ、地域で生活していくための安心と笑顔、愛情をもった看護を提供してきました。これからも、いつまでも、地域住民に愛され信頼され続けるステーションでありたいと思っています。



戸田中央医科グループ
http://www.tmg-houmonkango.jp/ota_ikegami/
大田池上訪問看護ステーション
 所長 ^{みくりや} 御厨 裕子
 〒146-0082 大田区池上3-28-14 フォレスト・ガイア1階
 TEL: 03-3752-0151 FAX: 03-3752-0153
 E-mail: otaikegami_homon@tmg.or.jp

今年は暖冬とニュースで流れていますが、それでも冬は寒いです。訪問先も常夏のようなお宅から南極探検隊さながらのお宅まで、毎日がホット&クールです。身体が資本の訪問看護師が風邪をひいては大変なので、今回は寒さと乾燥対策について、皆さんの知恵を集めてみました。

訪問看護の知恵袋

○首を温めるのが一番効果あり

昔はマフラーそれがネックウォーマーになり今はスヌードと言われ、スヌードにホカロンを貼ると最強です。

○半袖ポロシャツの下にヒートテックの長そで

おばさんにはチョット抵抗があるらしいけど、今はオシャレで暖かい。

○長靴とあなどるなかれ

長靴は、滑らず保温効果抜群。昨年大雪で、履くのは小学校以来という方もいたのでは？オシャレな長靴もたくさんありますよ。

○冬の必須アイテム「軽量ダウン」

皆さん正しい着方を知っていますか？軽量ダウンの上一枚ナイロンコートを着ると風を通さず効果倍増です。

○訪問先では必ず上着を脱ぐ？

寒さに耐えながらの看護は頭も体も凍りつきます。失礼のない程度の上着は必要かもしれませんね。

○ガサガサの手で脈を測られたら…

手洗いが多い仕事から手の保湿は大切です。クリームもいろいろあるようです。目指せスベスベお肌。

(江東区医師会訪問看護ステーション 原田)

今年もあとわずかですね。いつもの街に人や車が増えて、気ぜわしく行き交うのを見ると、また1年が終わるなあと実感します。

編集後記

「人材確保に追われた一年でした」「独立開業しました」「認定看護師の資格が取れました」などなど楽しいこと、大変だったことイロイロありますが、1年たつのが早いと感じるのはやはり『年のせい』でしょうか…。皆さんにとってこの1年はどんな年でしたか？

東京訪問看護ステーション協議会も大忙しの一年でした。訪問看護の魅力を伝えるDVD作成に取り組み、東京らしく、おしゃれで魅力的なDVDに仕上がりました。また、劇団「協議会の仲間たち」が1月10日(土)都庁の5階で女優デビューいたします。どちらも訪問看護フェスティバルで皆様にお披露目することになりますので、楽しみに待っていてくださいね。

このようにあわただしくも充実した協議会活動ができた1年でした。雨にも負けず、風にも負けず、そして夏の暑さにも負けず訪問看護師さんたちですが、雪には弱いかもかもしれません。気をつけて訪問看護を楽しみましょう。(野村訪問看護ステーション 家崎)

東京訪問看護ステーション協議会は、都内で活動している訪問看護ステーションの訪問看護師たちを支援してまいります。ご入会を心よりお待ちしております。

11月30日現在の会員施設数
継続会員:324 新規会員:79 合計:403

【連絡先】〒135-0063 江東区有明3-6-11 TFTビル東館9F
株式会社プロコムインターナショナル TEL 03-5520-8824

訪問看護ステーション業務ソフト

株式会社 ライフウェア
東京都新宿区新宿 2-15-24 成田ビル 5F

訪問看護ステーションの業務をパソコンがフルサポート! <診療報酬・介護保険改正対応>

- 医療保険・介護保険に完全対応
- 月単位・週単位の訪問予定表を自動作成
- 容易な訪問実績データの入力
- 計画書、報告書、看護記録等の文書作成
- 各種業務に有効な帳票類の印刷
- 主要データの外部ファイル出力
- 保険適用外の自費請求処理対応

※iOS・Android・Windowsのタブレットを使用することができます。

高機能で
低価格

容易な
操作性

安心保守・
サポート



image



タブレット
端末にも
対応

訪問看護業務の
効率が劇的に
向上します!

資料請求 | TEL: 03-6457-8798

www.lifeware-net.co.jp

ライフウェア

検索

有料老人ホームをお探しなら東電パートナーズにお任せ下さい!

このようなお困りごとはありませんか?

- ・医療依存度が高く、在宅介護は難しい…
- ・看取りまで可能で安心なホームに入りたい
- ・退院期限が迫っているが、行き先が決まっていない!

介護現場を経験したスタッフが徹底サポートいたします!

- ・介護の専門家による施設見学同行
- ・お問合せからご入居まで、対面による安心サポート
- ・ご相談からご入居まで最短1週間でのご対応

<お問合せからご入居までの流れ>



ご入居後も徹底した
フォローをお約束します。
私たちにお任せ下さい!



東電パートナーズ

相談料・紹介料 全て無料対応



0120-300-510

〒135-0044 東京都江東区越中島3-5-19 東新越中島ビル3階
相談員浦尾までお気軽にお電話下さい! 携帯:080-5954-8276

